

第34回天ヶ瀬ダム再開発事業景観検討委員会 議事要旨

開催日時：令和5年3月8日（水）13：45～15：20

開催場所：宇治市役所 8階 大会議室

委員：吉水委員長、山仲委員、中村委員、小山委員、井上委員、平野委員代理
以上敬称略

事務局：琵琶湖河川事務所

[審議概要]

最終の委員会として、天ヶ瀬ダム再開発事業の概要及びこれまでの委員会審議経緯を振り返るとともに、対象構造物等の景観整備結果を説明し、事業完了報告を行った。

(1) 規約の変更について

(2) 議事（報告）

①天ヶ瀬ダム再開発事業の概要

【報告】

②これまでの委員会審議経緯

【報告】

③対象構造物等の景観整備結果

【報告】

[議事概要（総括）]

(1) 規約の変更

- ・委員3名の変更について、了承された。

(2) 議事

①天ヶ瀬ダム再開発事業の概要【報告】

- ・報告内容について了承された。

②これまでの委員会審議経緯【報告】

- ・報告内容について了承された。

③対象構造物等の景観整備結果【報告】

- ・事務局より、これまで本事業を進める際に景観・デザインの観点から多様なアドバイスを頂いた、富山大学・久保田善明教授へ、本事業における景観整備結果に関するヒアリングを行い、自然環境との調和や技術的な観点からも評価を頂いた旨を報告した。

各委員より、次の通り意見を頂いた。

・（吉水委員長）

再開発事業として整備して頂いたものが、今後、市民や観光客の憩いの場・観光資源としても活用頂けるように、今度の維持管理についても、しっかり力を入れてい

ってほしい。

・(山仲委員)

経緯がよくわかった。先日、旧志津川発電所の裏や施設内部を拝見したが、真正面に吐口部が見えてくる場所だった。吐口部の施設も、落ち着いてくると見え方が変わってくると思うが、次第に馴染んでいくと思う。

・(中村委員)

審議経緯や VRCG による説明があり、よくわかった。吐口部横の護岸も石積みに調和するようにしてほしい。

・(小山委員)

天ヶ瀬ダム of 新たな魅力をつくり上げられればと思っている。いろいろな人がさまざまな形で天ヶ瀬ダムの恩恵を受けられるよう、何か具体的なことを考えていきたい。個人的には魅力的な漁場をつくりたい。古来の水生生物が住み着くなどの自然環境をつくって行ければと思っている。

天ヶ瀬ダム周辺の景観を楽しめるように、釣り場や駐車場等も整備出来ないかと思う。関係者の方で、そのような配慮を頂ければと思う。

・(井上委員)

白虹橋について、これほど素晴らしい構造物がどのように検討されてきたかがよく分かった。全体コンセプトに基づいて検討されてきた結果が、今回の整備結果になっていると思っている。コンクリート構造物は、自然になじんでいくように思っているの、時々見に来て頂ければと思う。

・(平野委員代理)

検討委員会にて検討が積み上げられてきた経緯がよくわかった。宇治市が何を大事にしたいか、それを国交省にて丁寧に具体化して頂いた旨を感謝したい。今後、宇治市としては天ヶ瀬ダムと周辺景観を活かしていきたい中で、VRCG や写真の素材等、今後より良く活用させて頂き、市民の皆様知って頂くことが重要だと思う。天ヶ瀬ダムだけでなく周辺の河川環境も利活用していただきたいと思っている。

宇治市としては、天ヶ瀬ダムをより多くの方に知って頂き、活性化につなげていきたい。宇治市議会でも、ようやくダム工事に区切りが立つため、ダム沿いの環境の利活用に向け、本格的に実装を進めていく段階にあると思っている。モデル事業を行いながら、どのようなことが出来そうか、観光協会などと議論できるよう、協議会を立ち上げる方向で進めている。国交省とも相談させて頂きながら、治水だけでなく観光・見どころを作る、ということをして令和5年度より検討していきたいと思っている。

以上